

## 改選後 初の臨時議会

令和5年5月16日、議会改選後初の臨時議会（会期1日）が開催され、議長・副議長、議会運営委員の選任について、常任委員の選

任について、利根川栗橋流域水防事務組合議会議員の選挙について、広域利根斎場組合議員の選挙について、埼玉東部消防組合議会議員の選挙について等の議会構成（前掲載）を決定いたしました。市長提出議案では、専決処分4件（幸手市税条例の一部を改正する条例、幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例、幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例、令和5年度幸手市一般会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて、令和4年度中に設定した6件（事故繰り越し1件含む）の繰り越し計算書の報告がございました。

## 6月定例議会

**一般会計補正予算（第3号）含む、市長提出議案4件を可決**  
**請願第1号 学校給食の完全無償化に関する件 不採択**  
**請願第2号 18才までの医療費を無料化に関することを求める件 不採択**  
**追加議案第38号 監査委員の選任について 不同意**  
**決議案第2号 枝久保喜八郎議員の議長不信任決議 可決**

6月定例会は、6月1日から22日間の日程で開かれ、市長提出議案、第34号 幸手市税条例の一部を改正する条例、第35号 幸手市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例、第36号 令和5年度幸手市一般会計補正予算（第3号）、第37号 固定資産評価員の選任についての4件を可決・同意しました。請願第1号 学校給食の完全無償化に関する件、請願第2号 18歳までの医療費を完全無償化に関することを求める件は審査の結果、不採択となりました。決議案第2号 枝久保喜八郎議長に対する不信任決議案が提出され可決されました。

## 決議案第2号

### 枝久保喜八郎議員の議長不信任決議案

枝久保喜八郎議長は、議会選出による監査委員の人事案について、令和5年第1回幸手市議会臨時会に続き、第2回幸手市議会定例会においても、市長に対し積極的に提案を促すことをせず、会期中を通じて人事案提出に前向きに関与しなかった。

この間、3会派の代表者から、議長が調整を図るべきで、今議会中に必ず監査委員を選任するよう申し入れを行ったにもかかわらず、議会が混乱しただけで結果的に会期中の選任には至らなかった。

これにより、今後予定されている令和4年度決算審査は、代表監査委員1名で対応しなければならず、適正な監査業務に重大な支障をきたす危険性が高まった。

このように、議会の中心となって議員を取りまとめるべき立場であるにもかかわらず、監査委員が選出されなかったことは指導力不足であり、前代未聞の事態となった。

また、会派代表者からの申し入れにも耳を傾けない姿勢は、議長として全く不適格であり、今後の議会運営を委ねることはできない。

よって枝久保喜八郎議長に対し不信任を決議するものである。

提出者 小河原浩和  
賛成者 青木 章  
松田 雅代  
高野 優一  
宮澤 大地

#### 質疑

議会全体の責任で、議会選出の監査委員を出すことを、今議会ですでにできなかったというのは、自分たち全員が責任を取らなければいけないことです。ですから、議長だけの責任にしていいのかどうか伺います。

#### 答弁

考えが違ふと思います。

#### 反対討論

坂本 達夫

議長不信任決議（案）に反対する立場から討論を行います。

監査委員選任について、議長の指導力不足によって、監査委員が選出されなかった。これは、議長の責任だという。

しかし、考えてみれば、我々議員は、監査委員選出について、議長にどれだけ協力したのか、選出できなかったことに我々議員にも大きな責任があります。

よって、選出できなかったことの責任を議長一人に押し付ける議長不信任決議に反対します。

# 学校給食無償化を求める請願と 子ども医療費の無料化を求める請願

## 賛成討論

大平 泰二

市の給食費補助制度では現在給食費補助金として2076万4027円を支出しており、ほかにも就学援助給食費として2798万5762円を支援しているところ

です。市の現在の学校給食費補助制度は、平成25年度より保護者の経済的負担の軽減を目的としまして実施している事業です。事業を開始して10年目を迎えており、保護者の方々からも、第1子も補助対象にしてほしいなどのご意見やご要望も寄せられています。

学校給食無償化を学校教育の一環として、また保護者の経済的負担の軽減、少子化対策や人口減少対策として位置付けることは重要です。

政府も令和5年3月31日少子化対策のたたき台として給食費の無償化を正式に公表しました。

完全無料化になりますと、令和

4年5月現在の幸手市の児童生徒数3238人により算出したしますと給食費費用は1億5996万円となり、これを毎年一般財源で負担することになりますので、財政的にはかなり難しいものとなりますが、財源的には可能です。

子ども医療費の無料化は子育て政策の中でも命と健康に関わる重要な課題です。

幸手市では通院入院ともに中学校終了までの医療費（保険診療分）が病院や薬局の窓口で支払う額が無料となっています。

埼玉県では熊谷市、行田市、秩父市、本庄市、東松山市、鴻巣市、深谷市、桶川市、北本市、蓮田市、白岡市等の11市で18歳までの医療費無料化を実施しています。幸手市でも18歳までの医療費無料化を実施するためには2380万円必要としています。これも財源的には可能です。

## 総務常任委員会

幸手市税条例の一部を改正する条例（議案第34号）

**問** 特定小型原動機付自転車の軽自動車税種別区分の見直しの内容については。

**答** これまでは、50cc以下、あるいは0.6キロワット以下のものは、電動キックボードであっても同じ区分の原動機付自転車としての扱いだだったが、令和5年7月1日からの法改正により、電動キックボードに対して、特定小型原動機付き自転車という新たな区分が設けられた。

改正に伴う変更点として、これまで必須とされていた運転免許証が不要となり、ヘルメットの着用については必須から任意（努力義務）へ変更されることになる。

また、車道のみとされていた走行場所が自動車専用道路も走行可能となるほか、ナンバープレートは、車体に合わせた安全性を加味し、小さなナンバープレートが交付されることになる。

令和5年度幸手市一般会計補正予算（第3号）  
（議案第36号）

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使途については。

**答** 一つ目は、低所得者の特別給付金として3万円を5500世帯に。二つ目には、国から推奨された事業として、物価高騰と食料費高騰に対応する事業に予算を編成した。

**問** 会計年度任用職員報酬の内訳については。

**答** マイナンバーカード交付事業に2名分（1日7時間、週5日、8・9月の2か月分で77万3500円）。また、低所得世帯特別給付金支給事業については、2名分（1日7時間、週4日、7月から令和6年2月までの8か月間を予定として241万3320円）。合計318万7千円を計上している。